



平成31年 2月12日

担当課	農林水産課
担当者	黒田・中居
電話	(073) 435-1049
内線	2827

四季の郷公園「味覚ゾーン」の整備に本格着手！

四季の郷公園は、“農にふれる・自然を体感する・食を楽しむ”をコンセプトとして、リニューアルを進めています。公園エントランス部分には、「味覚ゾーン」として、新たにレストラン、農産物直売所等を設置します。レストラン等については、和歌山市初となるPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）のDBO方式を採用し、公募型プロポーザルを実施して事業者グループを選定しました。

今後は民間のノウハウを生かし、和歌山南スマートインターチェンジの開通により増加が見込まれる公園利用者やインバウンド観光客にも対応した施設整備を行い、2020年4月の「道の駅」としてのオープンを目指します。

1 事業者グループ（四季の郷パークマネジメント共同体（仮）） ※2019.2.5 選定審査会で決定

代表企業 - 「株式会社日本旅行」と「株式会社J R西日本コミュニケーションズ」

<その他構成企業>

- 株式会社MuFF ○株式会社KUUMA ○株式会社アール・エステートサービス
- 和歌山電鐵株式会社 ○城善建設株式会社 ○株式会社サンライズ ○proyect g oficina

2 「味覚ゾーン」整備概要

(1) 事業コンセプト「FOOD HUNTER PARK」

- ・縄文時代をイメージし、自然の中で、「食を学び、獲（狩）り、食べる」
- ・持続可能なエネルギー循環を生むオンリーワンの「道の駅」

(2) レストランの特徴

- ・地元の新鮮食材を活用した和歌山料理の魅力を発信し、毎日訪れたいレストラン
- ・摘み取り野菜をその場でいただくBBQスペース

(3) 農産物直売所の特徴

- ・独自の県内の契約農家等とのネットワークによる豊富な品揃え
- ・ラボラトリーテストキッチンを導入し、契約農家等による農業の6次産業化

3 今後のスケジュール（予定）

- 2019年2月 市と事業者グループ間で基本協定を締結
- 2019年3月～ 設計・建設
- 2020年4月 「味覚ゾーン」オープン



「味覚ゾーン」 【ロゴマーク(案)】



<エントランス>



<レストラン>



<農産物直売所>



「四季の郷公園全景」

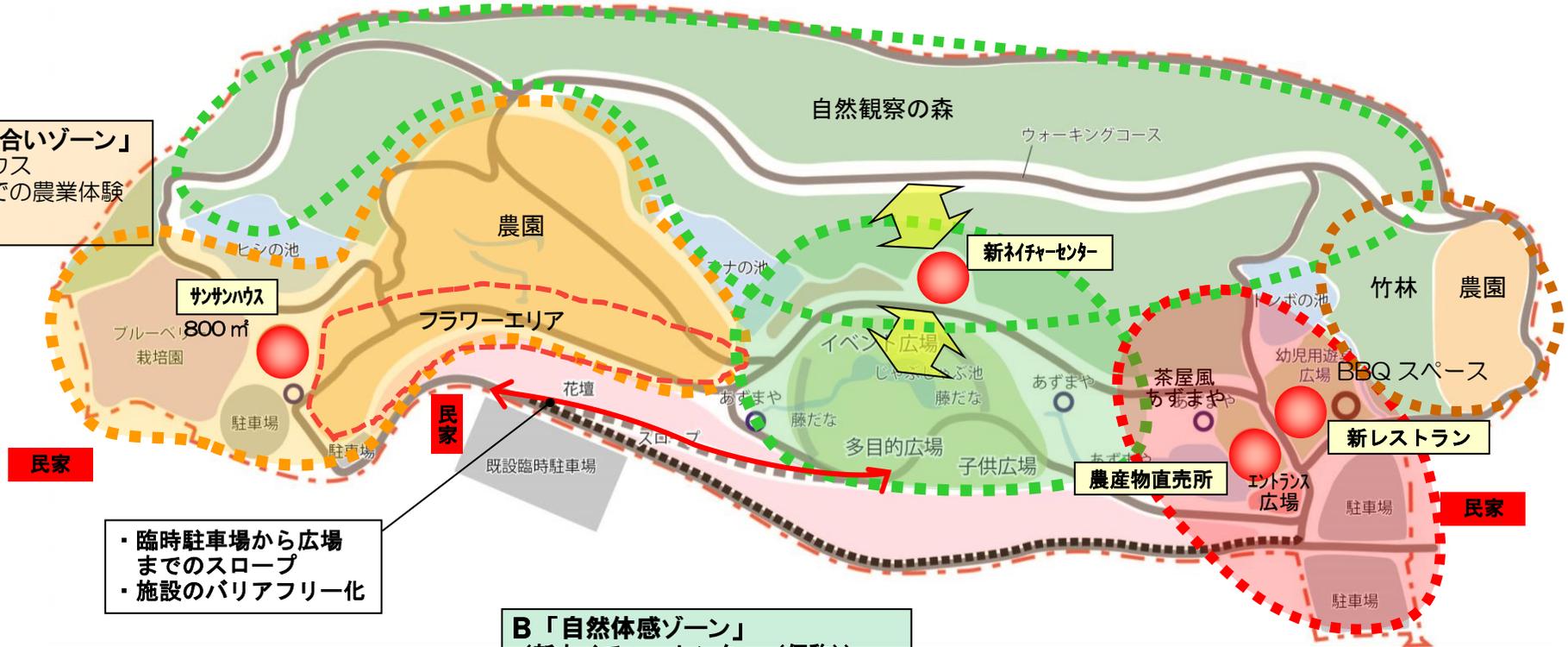
「味覚ゾーン」

3つのゾーンの構想

【リニューアルのポイント】

- ② 四季折々のフラワーエリアを新設
- ② レストランとネイチャーセンターの機能を入れ替え、BBQスペースを新設
- ③ 農産物直売所を建替え
- ④ バラ温室を「サンサンハウス（仮称）」とし、農触れ合いゾーンの拠点とする
- ⑤ 果樹・野菜の農業体験の実践
- ⑥ 体験型イベントやプログラムの充実

A 「農触れ合いゾーン」
 サンサンハウス
 ⇒ 「農園」での農業体験
 ⇒ 「カフェ」



- ・ 臨時駐車場から広場
までのスロープ
- ・ 施設のバリアフリー化

B 「自然体感ゾーン」

(新ネイチャーセンター (仮称))
 ⇒ 現ネイチャーセンターの機能を移転
 ⇒ 「自然観察の森」、「広場」を活用したイベント開催 (新ネイチャーセンターと広場の一体利用が可能)

C 「味覚ゾーン」 (道の駅登録を目指す)

⇒ ネイチャーセンターをレストランに転用
 ⇒ 駐車場、農産物直売所、新レストランによる集客 (食、買物) ゾーンの形成
 ⇒ BBQスペースの新設、茶屋風あずまや (日本庭園) の活用